

浜松市議会政務活動研究会会議録

1 開催日時

令和元年10月25日（金）午後14時00分開議

2 開催場所

第1委員会室

3 会議に付した案件

- 1 海外視察に伴う報告について（市民クラブ）

4 出席状況

○出席委員（11人）

議長（座長）	柳川 樹一郎	副議長	鳥井 徳孝
委員	戸田 誠	委員	倉田 清一
委員	須藤 京子	委員	平間 良明
委員	遠山 将吾	委員	丸 英之
委員	酒井 豊実	委員	鈴木 恵
委員	馬塚 彩矢香		

○欠席委員（0人）

○議会事務局職員の職氏名

議会事務局長	松永 直志	議会事務局次長 （議事課長）	大橋 臣夫
議会総務課長	木村 晶子	議会総務課長補佐	本間 剛

会 議

14:00

○柳川樹一郎議長(座長) ただいまから、令和元年度第3回政務活動研究会を開会いたします。
市政記者の傍聴については、許可することよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○柳川樹一郎議長(座長) それでは市政記者の傍聴については、許可することといたします。
一般傍聴人の傍聴については、申し出があれば許可することよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○柳川樹一郎議長(座長) それでは一般傍聴人の傍聴については、申し出があれば許可することとい

たします。

14:00

1 海外視察に伴う報告について（市民クラブ）

◎結論

市民クラブより海外視察についての報告がありました。

◎発言内容

○柳川樹一郎議長(座長) それでは、協議事項1の海外視察に伴う報告について、市民クラブから説明してください。

○鈴木唯記子議員 9月3日から9月8日までの6日間、インドネシアで海外視察をいたしましたので報告させていただきます。

2014年12月に文化・環境分野等の協力関係構築に向けた基本合意書を締結し、今年6月に両市の発展に関する覚書を締結したバンドン市とさらなる友好関係を結ぶため、市民クラブでは、4年前にも視察を行った経緯があります。本市ゆかりの企業が多く進出しているインドネシアに行き、当時のアセアンサポートビジネスデスクが、現地の企業からどのようなサポート体制を求められ、どう変わっているのかも見たいと思い、今回の視察に行ってきました。覚書を締結している文化、環境、水道の3つの分野を柱に、これから始まる特定技能での外国人受け入れに対し、現地でどのような動きがあるのかを主に見てきました。

まず、報告書の4ページですが、事前の準備として、ジェトロ浜松貿易情報センターから、現地の状況や情勢について説明をいただく事前勉強会を行いました。文化、環境、水道ということで、環境ではどのような協力体制がとれるのか、水道については3年前から行っていたジャイカの草の根事業が終了しているということで、どのような事業を行っているのかについてお聞きしました。本当は、現地で水道事業の様子などを見たり、話を聞いたりしようと思ったのですが、中心部からかなりの距離があるということと、水道やごみ、環境についてはこれからもっと進展していくということだったので、現場視察は行いませんでした。

文化については、本市としてどのような友好関係を築いていきたいか、どのようなことをやっていきたいかについて、事前に観光・シティプロモーション課などと打ち合わせをし、情報収集をしました。産業部からいただいた意見として、例えば、バンドン市と名古屋を結ぶ直行便を活用し、バンドン市と浜松市をお互いに行き来できるツアーを造成したいが、乗客数が少ないと便もなくなってしまうので、なかなか連携を図れないのが現状だというものがありました。台湾など友好関係にある他都市の場合は、花が好きだということでフラワーパークに向けるようなツアーを組んで浜松へ来てもらい、だんだんと友好関係を築いているとのことで、バンドン市の方、インドネシアの方がどのようなものが好きで、どのようなものがあれば浜松市に来てもらえるのかを聞いてきてほしいという宿題をいただきました。

報告書の38ページになりますが、バンドン市観光局には2時間半くらいいて、ケニー局長を初めとする観光局の方にお話を伺ったのですが、インドネシアは若い年齢層が多いということもあり、写真を撮ったりするなど芸術的なことが好きだったり、すごくクリエイティブな町です。

写真は、バンドンクリエイティブハブという建物ですが、1階にはドアがありません。すぐ階段になっていて左右には写真が展示してありました。これは、私たちが視察に来るということで写真展を延長してくれていました。このようなクリエイティブな作品を展示するようなスペースになっています。また、机があり、学生など市民が自由に使えるスペースになっています。建物の中はクリエイターが作品

を生むために自由に使うことができるようになっていきます。

局長とはこの建物の中でお話ししたのですが、今後さらに連携を深めていきたいとおっしゃっていて、浜松市の年間のイベントスケジュールを教えてください、バンドン市とスケジュールを合わせ、タイプアップしながらイベントを開催できるのではないかとのお話もいただきました。今後そういうことも話し合いながら、より友好的な関係を結んでいきたいと思いました。

日程を見ていただけるとわかると思うのですが、予定をかなり詰め込みました。というのも、インドネシアでは約束していても変更があったり、バンドン市では余りないのですが、ジャカルタ市ではかなりの渋滞があり、車での移動に時間がかかったりするので、万が一予定が変更になった場合でも、日程に穴が開かないようにしたことで、大変ボリューム感のある、内容盛りだくさんの視察行程となりました。結果的には全ての視察先におくれることなく行くことができたのでよかったと思っています。

また、渋滞回避のため、全ての移動を専用車にするのではなく、地下鉄MR Tや、ブルーボードタクシー、Grabも活用しました。Grabは、乗り合いのタクシーで、他の国だとUberと呼ばれるサービスなのですが、インターネットで予約して来てもらい目的地まで行くものです。ブルーボードタクシーは渋滞などで移動に時間がかかると料金も加算されていきますが、Grabは乗車場所から目的地までの料金が事前に確定しているので、どんなに時間がかかったとしても料金は加算されません。

Grabを体験し、本市でも、自動運転だけではなく、Grabのようなサービスも取り入れれば交通の便もよくなると思いました。MR Tも非常にきれいで快適に利用できます。ジャカルタ市はすごく渋滞しているので、みんなが電車に乗るようになれば渋滞も少しは解消できるのではないかと感じました。

日本大使館でもお話があったのですが、これまでインドネシアは、日本などの先進国と仲良くなり、自分たちの国も発展させていきたいというところがあったと思います。インドネシアは今後20年くらいの間は景気もどんどん上がり、人口もどんどんふえていき、とてもエネルギーがある町だという感じを受けたのですが、これから日本は少子高齢化が進み、人口ボーナス期も過ぎているという中で、6月に結んだ覚書を契機にもっと友好関係を結んでいき、私たちの町もさらなる発展を遂げていくことが大事ではないかということを実感する視察となりました。

内容に関して一つ一つ説明すると時間がかかりますので、視察報告書に記載のないものから印象的なことを紹介させていただきました。

○柳川樹一郎議長(座長) 市民クラブからの報告が終わりました。質疑・意見はありますか。

○遠山将吾委員 現地の企業は何社くらい訪問されたのですか。

○岩田邦泰議員 企業は5社です。公的な施設は浜松市海外ビジネスサポートデスク、日本大使館、ジェトロジャカルタ事務所、バンドン市観光局の4カ所、それとユニコム大学も訪問しました。

○遠山将吾委員 訪れた企業でのヒアリングの中で、何か印象的なものがあれば教えてください。また、大学の中に日本で学びたい方がいらっしやっただかどうかについても教えてください。

○鈴木唯記子議員 印象的だったのは、インドネシアでは地域によっても違うのですが、ここ数年で人件費が4倍近く上がっていることです。4年前に視察に行った際には、浜松市から現地へ進出したい企業のサポートができないかということでアセアンサポートデスクがあったのですが、今回は多少なりとも撤収する企業が出てきています。人件費が高くなっていることもあるのですが、現地に会社を開設するために相当な金額を支払わなくてはならず、維持費もかかり、どんどん法律も変わっていくので、知らず知らずのうちに法を犯してしまっているという状況にあったりして、現地企業は苦労しています。現地に進出するためにお金がかかりすぎているので簡単に撤退できないというところもあり、すごく大変な状況にあるというのが印象的でした。

また、ユニコム大学ですが、ここはもともと大学として設立されたわけではなく、小さな塾からだんだんと現場のニーズに合わせて大きくなり、今ではバンドン市一のコンピューター系大学になっている

ということです。日本語学科もあり、日本に対しても興味を持っています。視察先で皆が感じたのは、日本にもITに特化した大学があったほうが良いということです。

バンドン市には、ユニコーン企業と言われる、評価額10億ドル以上のテクノロジー企業が4つあり、IT関係は非常に強いです。ユニコーン企業は今後さらにふえると言われていています。ユニコム大学では1年生からオフィスなどパソコンのことを学び、産業や経済、法律を学ぶにしても、学科に関係なくコンピューターを高いレベルで学べるということで、学生が今後仕事をしていくに当たり、非常に役に立つことを学ぶことができる大学だということがすばらしいと思いました。

○岩田邦泰議員 ユニコム大学には日本語学科があるという話がありましたが、日本では金沢大学と北陸先端科学技術大学院大学の2つの大学と提携しています。浜松の大学と提携を結ぶこともいいのかなと思いました。

○柳川樹一郎議長(座長) 以上で海外視察に伴う報告を終わります。

なお、申し合わせにより、会議録は議会ホームページで公開します。また、海外視察報告書についても議会ホームページで公開するとともに、議会事務局の受付カウンターに配架し、希望者が閲覧できるようにしますのでよろしくをお願いします。

14:17